



リヴァイェエシフ

PROJECT  STALKING

ゴロコエラトメストーリーキコリ



前回までのあらすじ！

ストーカー行為に悩まされていた大学一年生
エレン・イェーガーは犯人を探るべく住んでいる
マンションロビーの監視カメラ映像を見せてもらう
そして発見した犯人はまさかの隣人だった
『まさか、そんな…あの人か！』困惑する

エレンの心とは裏腹に身体が反応し
その熱を解放する背徳感に夢中になってしまおう
そしてエスカレートする逆ストーカー行為
ある日ひよんなことからその行為が隣人に
バレてしまい家に連れ込まれる
押し付けられる唇に次第に上がっていく熱
身体に正直に受け入れようと隣人の局部を
露出したが何も反応していない

一体どういうつもりでストーカー行為を行っていたか
わからず困惑する最中突然家を追い出されてしまおう
啞然と立ち尽くす彼の局部は虚しくも熱く反応していた…



こんな臨戦態勢で
バイトなんて行けるかよ...

はあ...
完全に遅刻だ...

にしても
ミスしてきたってことは
やっぱり掃除の恨みじゃ
ねえってことだよな...

じゃあなんであれで
勃たねえんだ
なんで追い出された?
俺完全に据え膳だったよな?

まさか俺とのミスが
思ってたのと違って
幻滅されたとか...!?

いやそもそも最初からストーカー
してきたの向こうだし
俺はちよっと仕返しのため
だったんだからそんな
ショック受けることも無...

いやショックだ...
俺すげえショック受けてる...
俺すげえお隣さん好きだ...

だっすすげえかつけえじゃん
あの不機嫌さの中に漂う色気と
小柄さを意識させない伸びた
背筋に意外と厚い胸板...

それにいつも皺一つない
スーツをピシッと着こなした
スーパーマン...

憧れないわけがない...



はあ...
最後だと思って慰めるか...



なんだかんだ言って
楽しんでたから寂しくなるな...

あのローターもちよっと
ありかもなんて思って
きちまってたし...

どうすんだよこの
ちよっと緩んだ尻の穴...
そして行き場のない
この気持ち...はあ...つら...

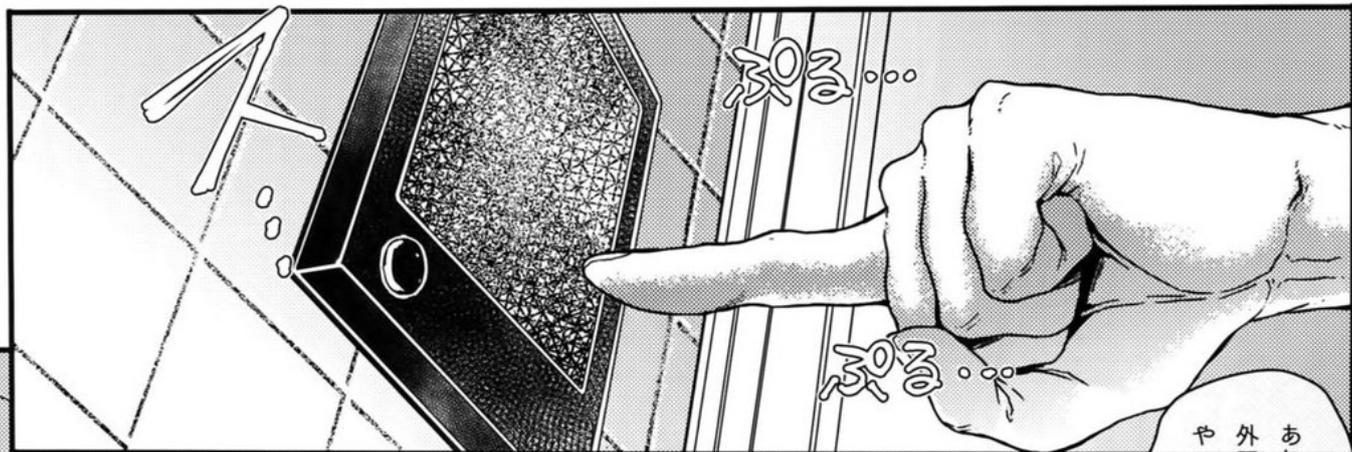
俺もう
今日はバイト休も...

は...
は...

は...
は...







あれから電話もメールもないし
外でも見かけないし
やっぱ避けられてるんだよな



今行って良いもんか...?
掃除中じゃねえよな?
あの目は2度同じことしたら
迷わず始末するって目だった

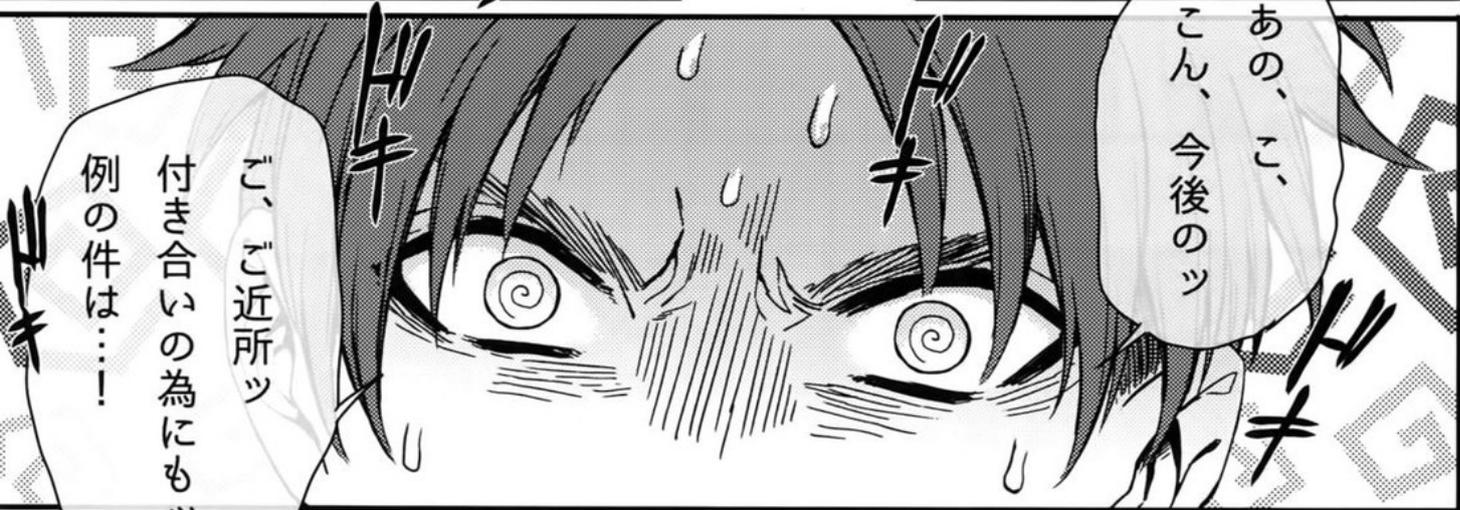


...百面相



最後の電話...やっぱり元々
俺の反応を見て楽しむだけの
つもりだったんだよ...

舞い上がった俺を見て
面白がってたただけだよな
ああ...くっそを恥ずかしい



おい



あの写真は
お前の仕業か



…はい
…すみません
あの
嫌がらせの数々は…
アッカーマンさんの
仕業ですか…



ああ
俺がやった

…？おい
あれは嫌がらせ
じゃねえぞ



初対面の時お掃除の
邪魔をしたから
怒ってるんですよ…？

ちがう
そんなことで怒るか



あれは、所謂…
愛情表現だ

好きだったんだよ
あれだけやってなんで
伝わってねえんだよ



……は？

あれで伝わると
思う方が
どうかしてますよ





ちがう

つまり…
イン。



いやでも
リヴァイさん

俺とキスしてもなんの反応も
してなかったじゃないですか

それは…
元々こういう性質なんだよ



その…なんだ

対象に俺の手が触れたり
モノをブチ込んだりだとか

俺自身が介入すると
萎えるんだ



つまり
俺が一人でしてるところを
手の届かないところで見るのが
興奮する??

ああ



俺が精液つきのパンツや
精液入のゴムでしてるの見て
してたんですか?

……ああ



……は、

はあああ~~~~~

俺てつきり
嫌われてるから俺の痴態を
見て楽しんでるのかと...

でも...
よかった...

お前は
どうなんだ

えッ 俺ですか
俺は...最初は正直
仕返しのつもりだったん
ですけど今は割と...本気です

そうか...

俺 誰かに恋?したのって
初めてなんですけど
この状況がおかしいってのは
流石にわかります

ああ 受け入れられる訳ねえだろ
だから俺は何も期待してない
だから会うのはこれっきりだ

でも 俺

意外と...

おかしいけど!



は、
嵌りそうで…

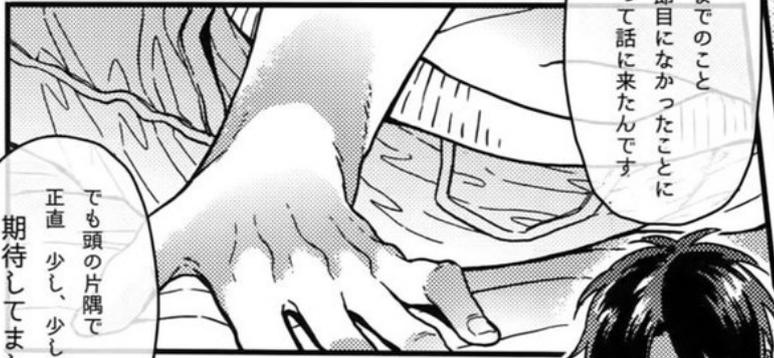
俺
リヴァイさんが
俺を見て興奮してるとこ
見たいです

んなわけねえだろ
頭おかしいのかてめえ

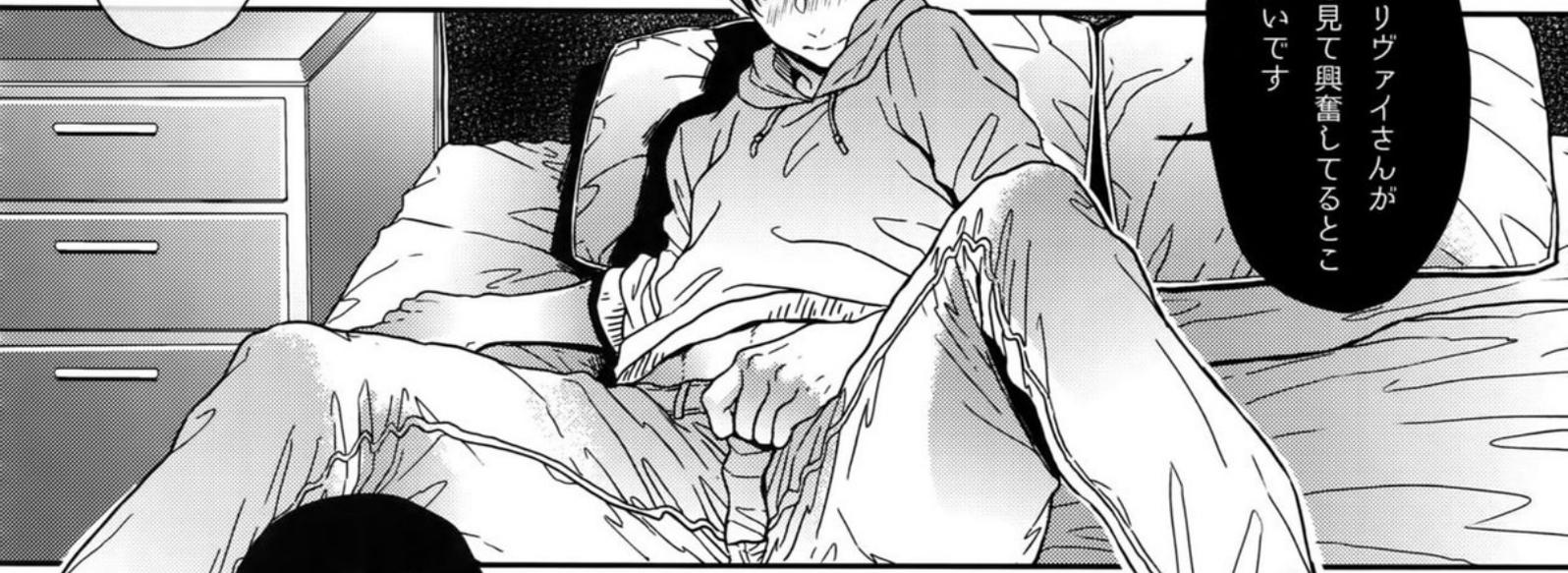
リヴァイさんに
言われたくないです

……。

俺、今までのこと
今日を節目になかったことに
しようって話に来たんです



でも頭の片隅で
正直、少し、少しだけ
期待してました



俺ばっか
見られてるの
ずるい





目逸らさないで
ちゃんと見て



あ、あ、ん
は...はア

リヴァアイさんの はア...
おつきなってますか？
きつくはないですか？
出さないんですか？



あ、ダメです
イモそう...イモます

ほら リヴァアイさん
出しますッ...見てッ





はア…



んんッ



今から俺の指示に従え
いいな



…エレン



あッあんッ
これッ
すご……ッ

この間見つけただろ
イイとこ ゴリゴリ
擦ってみる

あ、は、
わかんナッ
全部ッきもちい……ッ

はッ探れ
もっとうよくなる

んんッ

きもちい……ッ

どこ……どこ……？
う……先にイモそらッ

あ、あ、んくッ
……はアッあッあッ



は、はひ
あ、あつ……ッ
あついいッ

あ、あ、あ
あ、あ、あ



あッ
あッ
み、みつけた
ここッここ……ッ

そう、そこだ
しただけ擦れ
前には触るなよ



ケッだけで
イクか？
中だけで

女みために
情けなくイクか？



あ、ひ
んうッ

あ、あ、あ



ソコだけ責めろ
ゴリゴリゴリゴリ

登り詰める
ほら ほら
ほら ほら……！

あ、こんなのッ
すぐ、すぐ出ちやう……ッ
あ、あ、あ、あ

あッ
あッ



何も解決
してませんね!

あれ!
結局壁越しが
対面になっただけで

...そらだな

リウアイさん
もしよかったら...

俺と一緒に、

ED
治していきませんか?

だからインボじゃ
ねえつつってんだろ

Handwritten signature and scribbles in the bottom left corner.

PROJECT 2 STALKING

2016.5.4 **END**- Chiaki Azuma

joy.azuma@gmail.com

@oioioioioio

Thanks Marusho-ink



本書は非公式ファンブックです。

無断転載・転売・不正アップロードはご遠慮ください。